



“つらい気持ち”に寄り添って一緒に解決してきました

●母子家庭への無慈悲な差し押さえに抗議！

シングルマザーが、国保滞納により、市から銀行口座の差押えにあいました。ところが、収入を確認してみると、この家庭はとっくに生活保護基準以下の暮らし。「こうした家庭を生活保護に繋ぎ、救うのが市の仕事ではないのか！」と市に厳重抗議。即座に生活保護に繋がりました。

●孤独な子育てをさせない！

くりかえし市長に要求し、この間、保育園の定員が793名拡大しました。

●弁護士相手に一步もひかない！

生活保護の男性が孤独死をしました。重症筋無力症なのに、1週間に1度しかヘルパー派遣をしなかった日野市に対して、情報開示請求を行い、その母親と共にとたかいました。個人情報保護審査会では、弁護士を相手に論戦し、市の非開示決定を覆しました。

この地域の要望もいっしょに実現しましょう

これまでこんなことに取り組んできました

●東光寺小について緊急申し入れ

東光寺小では、4年生のクラスで、1学期の間、「学級崩壊」寸前の状態が続きました。大人数に加え、支援の必要な子どもさんが複数在籍し、前途多難が目に見えていたにもかかわらず、新卒教諭を担任にあてたため、担任教諭が体調不良をきたし、休職してしまいました。後を引き継いだ学年主任も体調を崩し休職した事を鑑みれば、2学期に入った時点でクラスを分けるべきだったと言えます。今後は、年度途中であっても、状況を見極めてクラスを分割するよう、教育長に申し入れを行いました。

●“大坂上・神明改札口” 実現

大坪市長は、2017年の市長選挙の際に「日野駅周辺における3大公約」として「西口改札の実現」を公約しました。この約束を守らせるために、地元の団結で必ず実現しましょう！

●日野自動車・東側の歩道拡幅を！

日野自動車の東側道路は、狭い上に片側しか歩道が整備されていません。反対側の歩道を拡幅するため、日野自動車にセットバックを依頼するよう求めました。市長は「移転対策協議の中でその話をしたい」と回答しました。



小中学校の施設改善
(写真は文科省交渉)



歩道の拡幅(日野
駅に向かう歩道)



ミニバス新規開通
(日野駅一大坂上路線)